

実施計画事業名		福祉団体支援事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		生活福祉部社会福祉課		課長(主幹)名	熊谷 悦子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	1	地域の助け合いによる福祉を推進します					
	関連施策							
現状と課題	各福祉団体が行っている地域での活動及び市民への啓発が周知されていない部分もあり、それぞれの活動内容や意義をどのような方法で広めていくかが課題となってくる。							
目的	各福祉団体の運営費を補助することによって、地域での活動及び市民への啓発等を推進することを目的とする。							
5ヶ年開の 施策展開	各福祉団体に対し、運営費を補助するとともに、活動を支援する。							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	各福祉団体開催事業参加者数		人	目標	2,500	2,600	2,900	
説明	「ふれあいフェスタ(社会福祉協議会主催)、遺族会が参加する各慰霊祭、社会を明るくする運動の啓発活動、声問ノーマライゼーション推進委員会が実施する各交流事業の参加者の合計人数			実績	3,242	2,229		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	各福祉団体事業開催回数		回	目標	15	15	15	
	説明		「ふれあいフェスタ(社会福祉協議会主催)、遺族会が参加する各慰霊祭、社会を明るくする運動の啓発活動、声問ノーマライゼーション推進委員会が実施する各交流事業の合計実施回数		実績	13	13	
	「ふれあい総合相談所」での相談件数		件	目標	60	70	100	
	説明		社会福祉協議会が地域福祉の推進を図るために、日常生活に関するあらゆる相談を「ふれあい総合相談所」として開設しており、その相談実施件数		実績	103	56	
	「ふれあいランチ事業」へ参加した町内会数		団体	目標	8	9	12	
	説明		一人暮らし・高齢者夫婦世帯へのお弁当の配達や交流する事業について町内会へ参加を呼びかけ、実施した町内会数		実績	9	10	
	ひとり暮らしの老人等へ除雪サービスを行った回数		件	目標	80	85	100	
説明	冬期間、安心して生活できるように、社会福祉協議会職員等が除雪サービスを行った回数		実績	85	58			
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)	千円	34,254	34,952	34,996			
	国庫支出金	千円	0	0	0			
	道支出金	千円	0	0	0			
	起債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	34,254	34,952	34,996			
	この事業にかかる職員数	人/年	0.34	0.72	0.72			
人件費(B)	千円	2,355	4,890	4,890				
計(A+B)	千円	36,609	39,842	39,886				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する></p> <p>今年度はふれあいフェスタの開催日と南極観測船「しらせ」入港日が重なったため、参加者数が昨年度より若干減少した。また、遺族会の会員の高齢化により慰霊祭への参加者も減少しているため、成果指標を下回る結果となった。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p> <p>細事業のうち、除雪サービスは天候や降雪量により左右されやすい。</p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p>a a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する></p> <p>今後も地域福祉向上のため、各団体と連携し活動内容等について広報紙を活用し市民への啓発を行う。</p>

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する>						
	1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--